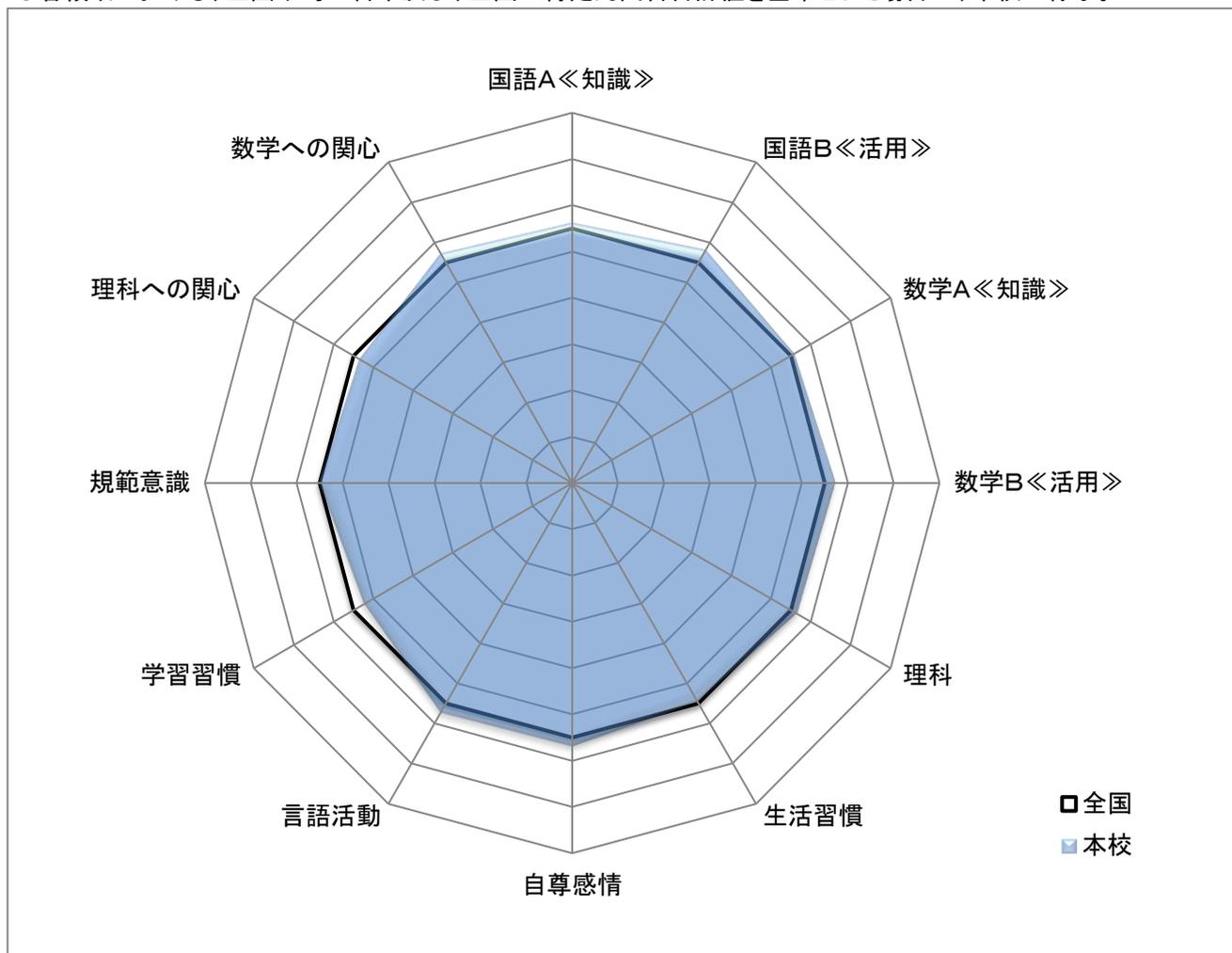


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

本校は、教職員が生徒一人ひとりを輝かせるために日々生徒とのコミュニケーションを図り、生徒個々の能力を高めている。特に、遅れがちな生徒に対しては、補習や質問教室等を実施し、生徒の理解度を上げている。その結果が、各教科において全国平均を上回る結果として表れている。

《授業改善のポイント》

ICT等を活用し、生徒の興味・関心・意欲を高めている。校内研修会等において、文系・理系・実技系に分け、年間数回互いに見合い、授業を分析する会を設けていることで、授業改善に活かせる環境づくりができています。また、若手教員育成週間を設け、その中での主幹教諭や主任教諭等からの指導・助言が、日々の授業に活かされている。

《チャートの特徴》

国語は、読書等により生徒の読む力や理解する力が身につけてきている。数学は、少人数指導により基礎的な計算や文章題等の理解力が向上しつつある。理科は、日常的に実験等を取り入れ、生徒の興味・関心を高めた授業を展開しているので良い結果が表れている。本校の生徒は挨拶がよくでき、基本的な生活習慣が身につけている生徒がほとんどである。ただし、家庭学習習慣がまだ身につけていない生徒が若干いるので、その生徒の学習に対する取り組みの支援をすることが課題である。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭や地域に対しては、学校ホームページや学校だより、学年だより等で学校の取り組みを紹介している。その結果、地域からは毎年高い評価を得ている。保護者は、ほとんどの保護者が協力的であり、学校に信頼を寄せている。